

第4回 海老名市保護者負担経費検討委員会概要

日 時：平成30年2月5日（月）

15：30～17：00

※当初は1/22（月）に開催予定だったが、大雪のため、上記日程へ延期となった。

会 場：海老名市役所7階705会議室

出席者：【委員】

岡田委員長、秋山副委員長、中村委員、瀧井委員、吉崎委員、
飛矢崎委員、宮原委員、竹島委員、奥泉委員

【教育委員会】

伊藤教育長、別府就学支援課副主幹、山本就学支援課係長、
大乘就学支援課主事

欠席者：市川委員、塩見委員、金指委員

1 開会 委員長

2 挨拶 教育長

3 議題

(1) 公正取引委員会の公立中学校における制服の取引実態に関する調査報告書について

(2) 近隣市の状況及び海老名市との比較について

【事務局にて(1)(2)について概要等説明】

- ・公正取引委員会調査趣旨、対象、方法
- ・調査での最多販売価格帯と近隣市、海老名市との比較
- ・近隣市とは大差ないが、調査報告と比較すると高い部類に入る。
- ・制服の取引にかかる公正な競争の確保で学校に求めること

【意見等】

- ・制服の価格は販売店が増えれば、安くなると思う。ただ、各校のロット数が小さいから難しい面があるが、制服は各校でデザインが違っていいと思う。
- ・制服は各校でデザインが違っていいと思うが、安くなるならという思いもある。
- ・デザイン性の高い制服なら多少高くても納得できるが、学区の中学校の制服は普段からみているが、値段の割にという気がする。リボンやネクタイがないからかなとも思う。制服は各校でデザインが違っていいと思う。
- ・販売店で価格が異なることは知らなかった。通常はジャージ登校で、始

業式や終業式のみ制服でもいいのではと思った。吊るしのスーツは質はいまいちかもしれないが安い。

- ・全国に海老名市規模の自治体はたくさんあると思うが、なぜ、制服の価格は上位に入ってしまうのだろうか。
- ・価格が安い制服は、男子は詰め襟、女子はセーラー服だと思う。詰め襟、セーラー服は全国規模で製造販売しているため、安い。海老名も昔は詰め襟、セーラー服だったが、全国的に学校が荒れていた時期に現行のブレザーに変更となった。
- ・修学旅行は相見積りをとっているので価格競争はできていると認識しているが、制服、ジャージは競争できていない。何らかの対応をしないと価格は下がらない。
- ・市内のある中学校では、制服に関しては2つのメーカーが作っている。ただ、ジャージに関しては、市内で全ての中学校で同じ会社のものとなっている。
- ・市内中学校のジャージを取り扱っているのが1社しかない理由は何かあるのか。(岡田委員長)
 - ⇒ 昔は、学校近くのスポーツ店も取り扱っていたが今は、現在学校に卸している業者以外は取り扱わなくなってしまったようである。経緯は不明だが。
 - ⇒ ジャージは綾瀬市中学校のようにコンペを実施すれば、現状からは変われると思うが。

○提言の案を作り、次回の検討委員会でご意見をもらい、市教育委員会で方針を打ち出していきたい。(岡田委員長)

(3) 中学校制服・ジャージ等に関する保護者負担軽減策について

【事務局説明】

- ・公正取引委員会の提言を踏まえて、以下の4つの軽減策についてのメリット、デメリット等を説明
 - ①コンペ・入札・見積もり合わせの実施
 - ②取扱店の拡大
 - ③デザイン・仕様の統一
 - ④基本仕様を学校で指定し、基本仕様に沿うものを保護者が自由に購入する。

【意見等】

- ・ジャージで④は、子どもはおしゃれをしたがって逆に費用が掛かると思う。
- ・いくつかの業者が参入すると価格は下がると思う。
- ・ジャージは体育館で滑ったりするとすぐに穴があくので安くてもいいと思う。

- ・織物（制服）の参入は難しい（織物メーカーが少ない）が編み物（ジャージ）の参入のハードルは高くないと聞いている。（事務局）
- ・正直なところ、中学校のジャージはデザインの割に高価だと思う。
- ・有名ブランドでもこのくらいの値段で買えてしまう。
- ・学校でコンペ等を実施するとなると学校で業者に声かけをするようになると思うが、現状で広く依頼できるかといえ、狭い範囲でしかできないように思える。
- ・運動用の T（ポロ）シャツは指定ではなく、白 T シャツなら OK という形ですぐにでも全中学校で取り組んでもらいたい。実施している中学校があるので、各中学校間での情報共有が必要。
- ・現在の学校で運動用の T シャツを自由化（白なら OK）したときは、他の教員からの反対はあったため、すんなりとは自由化できなかった。自由化して数年経つが保護者からの反対の声はない。
- ・一定の方向性を出したいがもう少し整理し、まとめたい。（岡田委員長）
- ・学校でコンペを実施する際の弊害は考えられるか。

（岡田委員長）

⇒現状での事務局の考えとしては、学校でのコンペ開催では、周知方法が課題だと思う。学校から声かけできる業者は限られており、広く周知できない。このことから、学校でコンペ等を実施する場合には市教育委員会において、業者への声かけとコンペ実施の周知が必要であるとは考えている。（事務局）

- ・T シャツに名前が入っているが必要性はあるのか。
⇒無くてもいいと思う。
- ・白 T シャツ導入時以前は、指定ポロシャツには学年カラーが入っていたのでそれが無くなって少し戸惑いがあった。
- ・学区の中学校は T シャツにカラーは入っていないので問題はないと思う。
- ・部活で大会 T シャツを買っているので、どこの学校でも使用を認めていると思う。併せて白 T シャツも認めている学校もある。
- ・新入学生の保護者説明会で、7月から9月はジャージ登校を認めており、夏服は1学期の終業式と2学期の始業式の2回しか使わないとアナウンスをしている（買わなくていいように）。
- ・ジャージ登校を認めたのはいつからか。どうやって。（岡田委員長）
⇒現在大学1年生の子が中学2年生の時から始まり、少しずつ期間がながくなっていった。（事務局）
⇒他校に広がればいいと思うが。
⇒市内のある中学校は昔はジャージ登校がほとんどであったが、最近になって、基本は制服での登校となっている。
- ・夏休みの部活のみの登校時はジャージ可となっている。

- ・制服、ジャージを分けて、もう少し整理をしていきたい。
ジャージは現在、市内中学校の全てが同一業者での指定となっているため、何らかの改善の余地があるように思う。
制服は、夏服を使わないような取り組み例もある。
コンペを実施するのであれば、複数年契約とすることでロット数を確保できる。(岡田委員長)

○次回の検討委員会で、制服・ジャージを分けて複数の案を示し、さらに保護者の負担軽減に向けて具体的な検討を深めていきたい。(岡田委員長)

(4) 今後の予定

- ・第5回検討委員会

3月27日(火) 15:30～ 705会議室

※2/19 から市教育委員会の事務室が保健相談センターへ移転するため、会議室については、再度調整したい。

⇒保健相談センター2階201会議室での開催となります。

5 その他

- ・今年度は次回が最終となるが、任期は9月まであり、これまでの議論の蓄積がある現在の委員で来年度も検討を重ねていきたい。来年度も継続してもらえるようにご配慮いただきたい。(岡田委員長)

6 閉会 秋山副委員長